

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

実施日時	2013年7月3日(水) 8:00~12:15
実施場所	久本小学校 ビオトープ
実施対象	5年生4クラス(145名)
実施内容	生きもの採取と観察

1 事前準備

・ビオトープに生きものがあるかどうか確認のため授業前にスタッフが簡単な生きもの採集を行い生きものの有無を確認した。

2 実施内容

(1) 本日の作業の説明とエコシティたかつの事について話をした。

(2) ビオトープの生きものを各児童、タモ網を使って採集しバケツへと移した。

(3) 採集した生きものを理科室に運び水槽に移して、観察解説を行った。観察にはルーペ、顕微鏡を使い行った。

(4) 質疑応答、まとめ。まとめでは学校の先生が制作した「ビオトープの生きもの表」に何が何匹取れたかを集計し表に記入した。

採取した生きものは授業終了後、池へと戻した。

見つけた生物

池のビオトープは確認できた生きもの、蝶のビオトープは植えた植物等を記入

●ビオトープ

・メダカ ・モツゴ ・ドジョウ ・コシアキトンボ ・アメリカザリガニ ・ヌマエビsp ・コカゲロウsp ・カイミジンコ
 ・ワムシ ・ゾウリムシ ・アオミドロ ・ケイソウ ・カイミジンコ

問題点・気付いた事・その他

・調査時期が遅かったのかヤゴ類は4クラス通して1匹しか見つからなかった。
 ・メダカが順調に増え、モツゴも増えてきている。一方でアメリカザリガニも増えている。
 ・ビオトープに放流していないドジョウを確認。誰かが放流したものと考えられる。
 ・以前のビオトープは周りに木が乱立し閉鎖的なビオトープだったが、今回は木が切られ開放的な空間になっていた。以前は閉鎖的な空間を好む生きものが見られたが、今後は開放的な空間を好む生きものが増え、閉鎖的な空間を好む生きものは減ると思われる。



木が切られ開放的な水面になっていた



先生が作ってくれた表を使って解説



顕微鏡での観察



ヌマエビの仲間



コシアキトンボ



大量に捕獲されたアメリカザリガニ